

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年3月29日 謁見収録 No.01

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

昨日も帰って、ちょうどこの前に来たら、また沢山いてね

真田 孔明：

僕たちが帰ってきたらあれ、どこかで会長の声がする？と思ったら・・

北野会長：

本当に毎日のお努めやから・・またそこで大宴会をやったんよ

真田 孔明：

あれは何のお友だちなのですか？

北野会長：

あれはだから、飲み友だちや

真田 孔明：

顔見知りなんですね？

北野会長：

顔見知りの・・俺の場合、すぐに人と友だちになるの早いもので・・

真田 孔明：

それが溶け込んでそこに！

メンバー：

笑

北野会長：

接待ギャルもいっぱいおっから、ついついまた焼酎を飲み始めたら、とまらなくなってしまうてさ・・どうなっておるのかね？体は・・

真田 孔明：

あのあとでね、エンジンがかかるってすごいですよね

メンバー：

じゃあ、また、奥様から・・

北野会長：

ああ、電話がかかりまくったんやけど・・

メンバー：

爆笑

メンバー：

1回、帰らずにそのままですか？

北野会長：

そうそう、帰らずに・・・帰ったのは12時ぐらいたったかな？俺もはっきり覚えとらん・・・ま、でもぼちぼちや・・・全部、悪いのは孔明さん

真田 孔明：

はい 笑 ちゃんとおうちまで・・・

北野会長：

そうそう、そこは全部振っておけばさ、孔明さんなら・・・

メンバー：

何とかしてくれる

北野会長：

もともと、あん人は酒を飲ませるタイプやと、俺に・・・

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

ワインで！

北野会長：

そうそう、ワインで！そんなところが商売人なんやて・・・うちのかみさんいわくは、やっぱり孔明さんはあんたを酔わせて、そこまでしゃべらせるっちゃあ、やっぱ、うまいこと言うからしゃべらせる

メンバー：

爆笑

北野会長：

これ黙ってさ、どうぞ、どうぞではなかなか言葉は出てこんやろ？俺ね、酒を飲まないのだめ・・・ホント内気、内向的とは言わんでも、本当に・・・

北野会長：

きのうの投信の話しだけ・・・あなたの・・・3,000万ぐらい？やっぱりあなたの性格からいうと三分割ぐらいにしておいたほうが、心安らいで、いいんじゃないかなと・・・いやいや、ちょっと引かかったんやて、俺の場合は率の高いところにすぐ入れるけど、その前の年もそういうことを言ったけど結局よかったな。トリプルエンジンあたり・・・経歴があるがやて

真田 孔明：

埋蔵金があるし・・・あとはあそこに座られているし、あの方が・・・

サッチェル：

トリプル、ちょっと下がっちゃいましたよね？配当金

北野会長：

だから、今、リングが46円から36円で10円やて・・・わかる？そしたら今まで46円でもらっていたお金が今、36円しかもらえん人が・・・

メンバー：

リアルで？

北野会長：

リアルで

真田 孔明：

為替で

北野会長：

それだけの三角形の・・・だから・・・

メンバー：

またあれは戻るのですか？

北野会長：

その未来までは私もわからんけど、過去もはっきりわからんけど・・・

サッチェル：

リアルは、もう、大分戻りましたよね？底値じゃないかっていう・・・

北野会長：

だから、俺ね、俺の知る限り32円まであったという話は聞いたことがあるがやて・・・でも、46、47円ぐらいから下がるとるんだから。どどどとね？今回の線は真っすぐ下がっておるやろ？100億円ぐらいのトリプルエンジンに売りが出ておるということは、これはやっぱり日本の眼鏡のおじさんが100億円でパ〜ンと弾いとるね。先に情報が入るのはああいうところからや、そうやろ？その後で情報が入るのは僕たち・・・必ず損をするわけよ

メンバー：

タイムラグが・・・

北野会長：

そう、だから日銀さんのほうは金もうけは簡単なわけよ・・・全て情報を握っておるわけやから、わかる？誰がどんだけチョンボしたか全部知っておるんやから・・・そうやろ？克明にコンピューターでデータを持っとるわけやから・・・絶対にかなわんわけ、庶民は・・・庶民は流れに身を任せておるだけや・・・

サッチェル：

下がったら買う

北野会長：

だからいつも言っておる・・・下がったら買う

サッチェル：

上がったたら売る

北野会長：

だから昨日、彼に言っていたのは、下がっているときってというのはものすごい買いにくい、だから下がったときに買う勇気がないと人生は絶対に・・・

サッチェル：

会長のおかげで今、うちらの中では買いだよね！ってなっていますね・・・買いだ、買いだって・・・下がっているから・・・

北野会長：

だから、ほとんどはできない！言えるけどできないっていうのが現実がやて・・・赤い字がパンパンパンって見えたら・・・

真田 孔明：

できないですね・・・僕たち

北野会長：

明日は、明日って・・・こう思うやる？ところがさ、人間は馬鹿やから・・・今度、逆にこうやって上がったら「お、安心やから買う」こうなるがやて・・・それでちょっと山があって、あとはまた下がるわけよ。この繰り返しなんやて・・・だから、俺は下がったら喜んで、下を拾っておる。三寒四温で3日、下がっても4日目は俺は自分で思うておるやよ「この前、そういうて聞いたから3日目、今日下がっておるけど、とりあえず3時の終値をしこめと」

メンバー：

う〜ん

北野会長：

でも、明日下がったら本当にとやっぱり思っておるわけ・・・腹では・・・ところが明日、プラス例えば60円とかさ・・・やっぱりさすがプラスやなと思うやる？ところが後場に入って風呂から上がってボタンを押したら「え？百何十円も上がっているな」と・・・ここがやて。ここで次の日までを延ばすかっていったら絶対に延ばさんね・・・俺は。今日の銭は今日のものにせんとさ・・・明日、じゃあ下がったらどうする？お前？未練だけが残ってさ！俺、結構、未練ばいんやて・・・だから・・・

サツチェル：

未練、残すな・・・

北野会長：

金、残せ！ 笑 本当はそこから・・・だから、チャカチャカっと手仕舞いして、やったりとったりするが・・・そのほうが30万でも40万でもさ、パンとボタンを押した瞬間に俺のもんや！明日は、明日はなんてね、そんなの信用したデータはなかったよ？今まで・・・俺の感じではね・・・全てはうそだとは言わないけど、なかなかそういう甘い話はねえで。でも、その日の後場を例えば見たらね。売った価格より安いと・・・また、3時ごろまた仕込んでおるんやて、それを。ここにこの俺のばかさかげんがあるがやて・・・こうやって山から下がってとる。もう1回、買っておこうかなという・・・スケベ心で

サツチェル：

下がったから

北野会長：

ただそれだけ。その毎日のやりとり・・・心の自分との。だから他人は全然、関係ないやから、ホントそうや！だから、そういうのが上手くいくと薬でも打っているようになるがや

メンバー：

興奮状態に 笑

北野会長：

興奮状態になる・・・いやいや本当に！それをまた次の日に当たったりすると、今度、調子づくやて。だから「おし、4日、上がったら、今度は逆に高いところに・・・あしたの朝は売りや！」なんてね、思ったと。ところがぱっと為替を見たら120円が118円とか・・・「よし明日から売っぱらってやる」1万株ずつ押すんやて・・・俺の場合。でも、すぐその日は手仕舞いする

メンバー：

あ～

北野会長：

俺は、自分の持っている投資信託の・・・これは現金で買っておるわけやろ？ほんでこっちは信用しかせんが・・・だから、1日でも利息をとられたほうがね、早く手仕舞いしたほうが利息を払わんでもいいやろ？

サッチェル：

信用なんですね

北野会長：

全部信用！俺、信用あるもん 笑

メンバー：

笑

真田 孔明：

ちなみに僕、30万を売りから入っていったら、そのあとずっと上がってっちゃって塩漬けになっちゃった

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

上がろうとしたときに売りから入ってみて「これが下がるんじゃないか？」と思って・・・ずっと残ったまま・・・

サッチェル：

塩漬け

真田 孔明：

塩漬け！

北野会長：

だから、あとそういうのは例えば嫌な話しやけど、今度、引取りをかけとんがやて。引いたら一生それがね、痛みになって思うやて・・・あ、あのときこの感覚で買って失敗したと・・・

真田 孔明：

その感覚の逆をすればいいんですね

北野会長：

そうそうそう・・・だから、痛みってというのは絶対に必要

真田 孔明：

じゃあ、痛もう・・・月曜あたり

北野会長：

それが30万で済めばいい、これが3,000万になったらやっぱりね

真田 孔明：

痛みどころじゃないですね・・・これ

北野会長：

結構、心臓のね、ドッキンドッキンにあまりよくねえがやて

真田 孔明：

2012年に味わいました・・・立て続けに味わいました、そのときは・・・

北野会長：

だから、小さいゲームかもしれんけど、それが何回もね・・・ケンが抜けて切れたら気持ちいい、酒を飲むほど気持ちよくなる・・・本当に。飲むほどに気持ちよく。わからなくなったら相場はやめること！ホント。お姉ちゃんのお尻でもぶっかけていれば絶対に失敗せんから、「今日食事でも行こう」と相場を忘れるぐらい酒を飲んでおっても絶対にいい。必ずね、やっていると目が見えなくなるから、目が・・・わかる？自分の手相をさ、ぐっとなってしまうと手相が見えんのや、近づきすぎとるが

サツチェル：

1回、離れないと・・・

北野会長：

本当に離れないと

サッチェル：

リセットして離れる・・・そうしないとだめだと言うことですね

北野会長：

絶対にそうよ。あこでみんなやられるんやから。だから、命も会社も絶対に継続が力やて・・・ここを頭に。だから、金を引いても慌てて商売してさ・・・一緒やる？株と？どうだ、どうだいてやりゃあさ、あんなもん、すぐやられてまう。だから、株も商売もちびちびと・・・だから、バケツで水を汲むよりも俺の論法から言うとおちよこでな、おちよこでコップの中に移し変える・・・3万でも5万でもいい

メンバー：

ちょこちょこ、ちょこちょこ

北野会長：

そうそう。プラスになったら3万でも5万でもとりあえずもらっておくと・・・この日々の努力が実を結ぶ

サッチェル：

なるほど

真田 孔明：

いかにお金を使わないかだけ考えてばいいんですね、最初は

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

延命ですよ？何年間、このあるお金で延命できるかっていうところを見ておけばいいのですね

北野会長：

そうそう

サッチェル：

ビギナーのビギナーは特に・・・

北野会長：

そう。それとね、売り癖をつけていないと必ず失敗するがやて・・・いつも売る癖になつとると何でもできるようになるが、だから、例えばビル1棟でも買ったと・・・高くなったら売るぞと。俺なんか全部そうや・・・持っとる物件、全部不動産屋さんにいうた。勝手な値段をつけてさ、それがまた売れると気持ちいいんやて。1億5,000万円・・・どこにも落ちていないお金をポツと拾ったわけやから。1億5,000万円儲かったんやから、気持ちがいいが・・・だから、人間っていうのは売り癖をつけておくと、仕入れたものは全部、売るがやから

サッチェル：

仕入れたものは売る

北野会長：

そうそう。この感覚を持っていればね、体が楽！あとはだから投げ売りをしないことや。一番困るのは30万しか負けておらんからいうて投げるわけや。それよりもこれを痛みに薬やと思うて残しておくこと・・・これがまた・・・みんな、来たの？（お酒）

真田 孔明：

まだです、あとちょっとですね、今、1個、1個、入れているので・・・

北野会長：

本当？

真田 孔明：

来ました！ご苦労さまでした！（乾杯）

北野会長：

今日も嫌な話をするかもしれんけども、腹を立てんと・・・何の議題もないんやけど、やっぱりだから売り癖！これが俺は大事なポイントやと思うよ、売れるっていうね。会社やってもね、物を仕入れて売らなきゃさ、利益も何もならないんやから・・・だから、あまり未練ばかり残しておかんと

メンバー：

再投資しているやつはどうしたらいいんですか？

北野会長：

再投資しているやつはあれはだから、値段が下がってもどんどん底辺が広がるでしょ？

メンバー：

買い増しして

北野会長：

そう買い増し・・・それが今度、例えば相対的な・・・価格が100円はじくと株券がふえとるわけだから利益がここに出るわけ・・・右側に黒い字で。それがふえていったらやっぱり一回ぐらい手仕舞い考えなきゃ・・・俺はそういうタイプなんやて・・・だけど、たまたま、ふらふらふらっと100円ぐらい上がってさ、いや、7,000円超えたと・・・1回、ちょうど12月・・・

サッチェル：

そうですね、上がりましたよね

北野会長：

そうやる？ぴゅっと上がったやろ？あそこがちょうど清算日と同じ日やったもんで、ま、ここは1回、清算してきれいに分岐しましょうと・・・ということでボタンを押しておいた

サッチェル：

奥さんはずっと再投資なんですね？何もしないで・・・

北野会長：

そう、そしてあと家族は全部、ただボタンを押して・・・上がると下がると、誰も気にしておらん・・・本当に全く気にならない性格ね

真田 孔明：

気にならない人が相場に入っちゃうとだめですよ？やっぱりね

北野会長：

相場なんてね、絶対にやらしたら、あんなもんすってんてん

真田 孔明：

う〜ん、僕もそうですけど・・・

北野会長：

感覚がないんやもん

サッチェル：

そうですね

真田 孔明：

感覚がないのわかるから・・・

サッチェル：

僕も感覚がないので入れっぱなしですね

真田 孔明：

だから、ボタンさえ押して死んだ振りしとったら金は増えておる

サッチェル：

今日の会長のおっしゃるとおり入れたらそのまま放置しておいたら42.いくつです

北野会長：

そうでしょ？ だから3年、持とったらね、大体・・

サッチェル：

倍になりますよね？

北野会長：

倍以上になる・・うちの子どもやとか嫁はんらちは、ぱっと見るやろ？「あ、倍になったんやね」これで終わりよ！

メンバー：

爆笑

真田 孔明：

お金があって当たり前みたいなね

真田 孔明：

これもう下がるよ・・俺は孫にも贈与してさ・・それも同じ・・「ただボタンを押せばほっぽっておけ」って・・見ておるもんも、ただほっぽっとるだけ！ただ「500万、500万、1,500万、3,000万ほどになったんやね」これで終わり

真田 孔明：

ちびっこが！

サッチェル：

去年10月でバ～ンと下がったじゃないですか？あそこで仲間で耐え切れなくて売っちゃった人はやはりみんな損をしている。10月の前に下がったじゃないですか？

メンバー：

金融緩和

サッチェル：

そうそう。2回目の金融緩和の・・そこで手仕舞っちゃった人はみんなもう・・

メンバー：

いました？

サッチェル：

いるいるいるいる

北野会長：

おるがやて・・・だから、皆さんどうか知らんけども、下り坂を3発たたかれると金に興味のあるやつは全部、離すの・・・2回目で離す

サッチェル：

三寒四温の法則ですよ？

北野会長：

もう、バ～ンと・・・

サッチェル：

耐え切れなくて売っちゃう

北野会長：

敵はさ、3億、5億、売る、売ってくるんじゃねえ！50億、100億単位でくるから・・・

サッチェル：

勝てないですよ

北野会長：

勝てない・・・

サッチェル：

勝てないです

北野会長：

だから、どこの国は日本に例えば、食らいつこうとしても勝てないやん。あのおじさん、そう300兆持ってさ・・・軽いもんね。フットワークが・・・

真田 孔明：

自分の金じゃないし！

北野会長：

そうそう、カモン、カモンやて・・・あんな恐ろしい人にね、つかかったら終わり

メンバー：

笑

真田 孔明：

しかも、1回もう、何百兆も増やした実績があるからこれから先、失敗してもどうでもいいっていう感じになっていますもんね？

北野会長：

そうそう、だから金のゲームは失礼やけど、金の持っているやつが強いんやて！だから昨日もみんなに言うたけど、借りた銭でも5,000万円でも1億円でも持っとりゃあさ、金持ちやて！そうやる？でも、その金がないとあれはお前、貧乏人やぞと・・・だから、俺、毎日、人に会ったら「俺、金余っとるんで」という単語をやっぱり覚えておいたほうがいいよと・・・。頭からよ？会った瞬間にさ「悪い、俺、全然、金ないから」嫌やる？

サツチェル：

嫌ですね

北野会長：

そうやる？そういうところにはね、金はまたね、寄ってこねえ・・・金が嫌がって。金ない、金ない言うところとはね、金も冷たい感じやから、寂しがり屋やるが？だから沢山金のあるところへくっつきたいわけよ。

メンバー：

う～ん

北野会長：

こういう具合に覚えとって！金の原理としては、俺はただ、カードしか持って遊んで歩かんけど、プラスチックでええんや、金持ちはプラスチックやと・・・うちに行ったら慌てて「おい、金大丈夫か？」そうならないように、普段から資金管理はしとかんとあかん言うたやて・・・。そうか・・・やっぱ。そんな人もおるか・・・

サツチェル：

いるみたいですよ。同じ情報をもらっていても耐え切れなくて売っちゃったって・・・

北野会長：

俺はやっぱり40年ぐらいこんなことをやっているから・・・下がったら喜んでおるタイプや

メンバー：

下がったら喜んで買いたいと・・・

北野会長：

そうそう

北野会長：

そういう人っていうのはね、金に敏感なんやて・・・凄い・・・

真田 孔明：

それで金に怒っちゃう人ですよね？普段から・・・

北野会長：

孔明さんみたいに30万、損した言うて人の前で言えないタイプの人・・・そういう人は辛くてやっぱり損切りをかけてしまう

サツチェル：

そうなんです、損切りを・・・

北野会長：

そうやる？大体ね・・・長いこと人を見ておると大体ね・・・

サツチェル：

そのあと、量的・質的金融緩和でまたバコ〜ンと上がったじゃないですか？結局、1年見てみたら42.3〜4％

真田 孔明：

やっぱり弾をね、どこの時点で例えば弾をふらふらっとたまってきたと・・・長いこと毎日、見とらりあさ、安すうなったなとかさ、思うやろ？そこを買えるやつが強いやつよ！

サツチェル：

今、安いから買いたとか・・・

北野会長：

そうそう！俺なんかスペインに孫がおって、あっちに婿はんいる・・・で娘に言う「お前、うちの財産、全部ユーロに変えろ」と・・・90円ぐらいのときやったユーロ、あったやろ？あ那时候、お前、うちの財産、全部・・・ケツは俺が見てやるからって言うたの。そしたら・・・言うてさ、聞いたらもう百何円さ・・・だから、戻りは早いわけよ。リバウンドっていうもんかさ・・・最後に俺にどう言うたと思う？娘が？「パパはただ安いときわかっただけのがや」

メンバー：

爆笑

北野会長：

俺はあの言葉を聞いて自分の家族には株はしてほしくないなと・・

メンバー：

笑

真田 孔明：

僕は、あのとき96円のとくにコソボにちょうど入って、ヨーロッパの。ユーロで土地を法人をつくって4,000平米、買ったんですよ。それがまだ残っていてユーロだけで結構上がっていて・・コソボって、そんなに広くないので100キロ、100キロの国なので、中心が4キロぐらいのところに買ったので、あれはちょっと今、貯金として当りかなと・・笑 今、売却先を探し出しているのですよ

北野会長：

あっ違う！常に売りに出しておくが・・きたら値段が合わんとかさ、不動産屋が違うとか言うておけばいいやん・・値段は脈をとるように見ておったほうが楽やろ？

真田 孔明：

常に売り出す

北野会長：

123、135・・

真田 孔明：

売りに出していないと確かにそうですね・・値段がわかりませんもんね？

北野会長：

そうやる？結局そこなんやて・・だから、何か・・

サツチェル：

そうか・・常に売りに出しておく・・

北野会長：

そう常に

メンバー：

重要ですね

北野会長

簡単なことやる？あんなの看板立てておいて、常に売り中って書いておけばええ

真田 孔明：

ずっとですね

北野会長：

そうやる？安かったら全部キャンセルや！景気が上がったら、孔明、3倍ほどの値段をつけてバ〜んと・・・笑 乗るかそろかみたいなものさ・・・ところが景気ってというのはさ、怖いもので、こうやってばんと下がるとるやつが弾くと上がりが早いわけや。そうすると、今度、いらん金をつかんだやつが世の中にはおるが？いらん金をどかんと何十億かつかんだしさ「そういえばあれでも買っておこうか」言うて・・・そういう人は無造作にも金が余っておるから買っておくが・・・こういう人が出てくる！だから、にわか銭をつかんだ人はパンと金なんていうのはね、金を暖めるということを知らんがやて・・・即、何かに・・・持っとなると不安で不安でね

メンバー：

使わないと・・・

北野会長：

そう、「使わないと！」こういう人が必ず出てくる

真田 孔明：

確かに僕もそういうタイプですよ・・・持っちゃう 笑 北野会長がですね、うちの嫁に持たせておけって言っていましたよね？

北野会長：

孔明さんもね、失礼やけど・・・そういうところがあるがやて。だから金は奥さんに持たせておいたほうが、あんたに持たせておきゃさ、最終的には全部・・・

真田 孔明：

飛ばしますよね

北野会長：

飛ばす

メンバー：

爆笑

北野会長：

3万、5万ちびちび集めて、最後たまった時にド〜ンやて・・・花火、花火！花火がパチパチパチ・・・ああ、終わった！みたいな

メンバー：

笑

北野会長：

もう間違いないタイプやから・・・本人は何とか鑑定士やらさ・・・脇が堅い人種みたいなことを思ってるけど、全く違う！今からずっと見とれ？孔明さん、いつも弾くかわからんよ？皆さんもそういうことのないようにね。あとはさ、金をつかんで節約して、こうやってちびちびと酒を飲んで遊んでおりゃええんやから・・・

メンバー：

普通の人ってお金を儲けられるようになっちゃうと使っちゃうというか、贅沢になりませんか？なんか・・・

北野会長：

だから、違うんよ。金の持っていないやつが金を持つと、持ったためしがないから不安なわけよ、だから早く使いに出るわけや・・・みんなそうや。みんなそこに不安があるがや。金をつかんだ人なんて山ほどおるが・・・でも、金を残した人っていうのは少ない。周りを見てみな・・・彗星のように上がったやつがね、消えるがやて・・・下がりゃいいんやけど消えるパツと・・・

メンバー：

上がったところでぱっと消える

北野会長：

そうやろ？上がったらぱっと消える

真田 孔明：

ネットビジネスでもそうですね？ネットビジネスで彗星のように来た人はみんな消えていますよね

北野会長：

だから、商売はやっぱりコツコツとやっているやつが強い。やっぱり地に足がついておるやつと、空でさ、チカッとピカッと光ったやつは・・・

真田 孔明：

すごい表現だ 笑

北野会長：

ピカドンの法則あるじゃない

メンバー：

笑

真田 孔明：

昨日の話の中でちょっと衝撃だったのが、上場企業とかの決算書をびっと切って先生に渡して決算書を最初につくってもらうと・・・それで、これだと年初に納税いくらですかっていうのが全部わかってしまうんですね。その分だけお金を用意しておけばいいし、毎月いくらかかるかもわかっているから先生にさっき延命時間っていうのをね、話をしていたんですけど・・・例えば2,000万円、引っ張ったら延命時間が5年間なのですよ。何もしなければ・・・5年間の間にずっと納税もし続けると最低6カ月か1年後にまた来ちゃうんですね、弾が・・・そうすると延命時間が延びちゃうと、これをずっと繰り返しているだけで実際、運用しなくても増えていっちゃうんじゃないかなと・・・

北野会長：

増えていくよ

真田 孔明：

ですよ

北野会長：

その借金、50カ月で返す・・・2,000万円を返したとするね。そうしたら、その2,000万円はあんたの手元に残るとるやろ？わかる？それを会社を一つよりもA、B、C、Dあれば3社ですできればよ、6,000万円ただ儲けやねん・・・50カ月後は・・・そうやろ？こんな簡単なゲームの話をしておるんやぞ

真田 孔明：

これがね、ようやくパンと開けて・・・金庫の中にあるお金は先生はどうせ見ないので・・・延命時間だけを教えてもらって何年、生き残るか・・・自分で計算して。そこのラインまでに演技をずっとすると・・・

北野会長：

でもね、先生に言うて、先生に決算書、まずどこかセンを切ってさ・・・1,000円以下はいいとかさ、何ならハスツパを逆にとってもいいから・・・そういうことやて。あとは現金出納帳だけで動かしゃあさ・・・金庫の中のお金は出たり入ったりしておるんやから

真田 孔明：

誰もわからないですよ

北野会長：

あとはだから電気、水道、ガス、新聞、ヤクルト、ガソリン代・・・こういうのは経費やから。そこに載せておけばええがやて。資産管理会社を一つ作ったと・・・帳面は先生につけておいてくれと、正しいやろ？何か動いておるような感じせんへん？電話代とかさ、新聞代とか何か会社らしいやろが？嫁をまず事務費やな、簡単やん・・・そんなもん。会社なんてこれ、これで軽いタッチでつくる感じ

真田 孔明：

本当に今までわかっているようでわかっていなかったなと思って・・・最初に

メンバー：

まだわかっていない部分ってあるんだけど、ハワイ、香港、ここで・・・ここまでわかったと・・・まだまだ

北野会長：

全ての事柄が株の話も、この人生の話も、また失礼やけど、俺から言うと小学生レベルやから・・・中途の話をしておってもうまくいかんと思うやて・・・な？切り替えしやとかね、そんな難しいこと言わんとまず、自己管理会社をつくと・・・新聞、今言ったものを経費で落とすと・・・そしたら、金庫の中のお金っていうのはどんどん減っていかん？毎月、経費で・・・でも、孔明さんが今までそれを全部、自分で払っておった分やろ？そう思ったらどこかで例えば300万円で仕入れてさ、ここでとったお金を乗せりゃあさ、電気、水道、ガスこれ売上にならん？わかる？難しかったか・・・だから、今日は管理会社を自分で持つというところい頭の中に置いておいてくれれば・・・そのほうが先生、楽でしょ？

メンバー：

そうですね

サッチェル：

管理会社があったほうがですか？

北野会長：

管理会社を・・・自分を管理する。一つの法人を作ってもそういう具合に自分の家に作っておけばそれは全て経費やて・・・電気、ガス、水道、電話・・・わかった？そうするとその会社はほっとけばずっと赤字になるわけでしょうがね？こうやって・・・でも、そのお金っていうのは会社から出たお金やねえかい・・・本当は孔明さんがずっと自分で払ったお金や・・・でも、それをさ、帳簿にさ100万円で例えば仕入れてさ、売上150万円で・・・50万円の利益と一番最後に決算書に出るプラス50万円というのと同じにしときゃあさ。中身はいっぱいあるないにかかわ

らず、差し引きはプラス50万円やろうか？決算書は。だから、もう、その会社は絶対に生き延びたわけやないかい？これを5年やったらどうということや？借金は全部払ったけど2,000万円はまだ孔明が金庫の中に持っとるわけや！払わんでもいい2,000万円になるわけよ。そこで手の表か裏かっていうて、昨日から言うているやるが、くるっと変わるわけよ。本当は銀行からちょろまかした金をやぞ？ちびちび返して、既に2,000万円は孔明の手元に残ったということやで

真田 孔明：

2年、3年たつとまた貸してくれますからね、ずっとこれ延命時間が延びちゃうんでね、これね

北野会長：

だからそこで先生の決算書が大事やよと

真田 孔明：

最初にそれから始めなきゃいけないんですよね？それで先生から毎月、伝票を何枚、どういふふうな形で出すのかっていうのを聞いて、そのとおりにやっていけばいいのですね？

北野会長：

あのね、そんなに難しいね、伝票をたくさん作るなんて思うとるやろ？違うんやて、100万円で仕入れて、150万円で売ったら50万円の利益が出たって先生に書いてもらうだけ

サツチェル：

書いてもらうだけ？

北野会長：

そう。途中経過なんていらんが・・・

サツチェル：

書いてもらうだけ・・・

北野会長：

そうやろ、先生が書くんやもん、先生の信用やないかい・・・真田孔明の信用あると？

サツチェル：

注文書とか領収書もいらない？

北野会長：

そんなもん先生な、見たくない・・・

真田 孔明：

見たくないんですか？先生それ？

北野会長：

真田孔明の金庫も先生、開ける必要ない

サッチェル：

そこはわかったんですよ、金庫を開けない。金庫を開けないのはわかったんですけど・・・領収書はいらないんですか・・・

メンバー：

数字だけは・・・

真田 孔明：

さっき言った、そうすると、本当にさっきみたいに先生、納税は100万円でもいいんですかって、これだけ国に必ず振り込んでくださいねっていうだけですか？

メンバー：

そんな感じですね

サッチェル：

でも領収書だと7年間とっておかないといけないじゃないですか？

北野会長：

7年間・・・あんなね。そんなね。ごみみたいな法人誰も見にこん

メンバー：

ごみみたいな法人！

メンバー：

爆笑

北野会長：

よう考えてみんさい、そこがね・・・みんなね・・・まだはっきりわかっていないやて

真田 孔明：

自分が見られていると思っちゃっているんですね？ステージの上に立っていると・・・

北野会長：

なぜか言うたら泥棒はさ、追わんでも逃げるが？自分は泥棒やてわかつとっからすぐにぱっと逃げるわけ・・・一緒の考え方やろ？黙ってそっと歩いておりゃさ、誰も泥棒やと思わんやろ？どうしてこの簡単なことを・・・何か簡単なことがね、皆さん頭のいい人はね、何か考えすぎておるんやて・・・

メンバー：

はい

北野会長：

金庫から金を出すなんて簡単やで・・・そうやろ？招き猫を一つ、持ってきてさ、香港で買ったと。2,500万円やったんやと、500万円は自分が会社に貸しつけておいてって、先生すぐに書いてくれるよ、同じなが。だからマイナスと今、プラスの話をすり合わせて上下に置いておいただけの話し。高いものでも何ぼでも買えるんやで、だから、形のあるものを皆さん、買おうとするとお金が、1万円札が目浮かぶやろ？

メンバー：

はい

北野会長：

違うんやて、もう少し長い紙、長い紙。銀行の借入書に・・・手形にね「1億円、借りました」横判をぱんについて赤いハンコを押すやん。その瞬間にこのビルは俺のもんになる・・・あんなの、俺かってばかじゃあるまいし、今までちびちびためた何億円の金をさ、払わんよ・・・わかる？長い紙にはんこをつけてビルを1棟もらうわけよ。これは仕入れやろうよ。

メンバー：

仕入れです

北野会長：

だから、毎日、売りに出しておるわけ・・・わかる？ただこれだけ！奴隷制度みたいな考え方やの・・・みんなに鎖をつけてさ、バイヤーが二人おると・・・大奥とお嬢様や、どの奴隷がいいですか。奥さん、買ってあげてよ・・・値段をつけてさ。でも、これは労働に向くとかさ、部屋の掃除に使おうとかさ、何でも値段ちゃつくわけよ・・・多種多様につくわけやないか？そういうもっとオーソドックスに何か経済を、そんなね金を借りた瞬間から税務署に追われとるような・・・誰も来んちゅうが！

メンバー：

笑

北野会長：

初めて来ても知らなかったと・・・「ぜひ、帳簿をつけるのを教えてください」と言うわけ・・・ホントそうよ。でも、それがずっと続けてやっているとやっぱりにらまれるから本当に悪いこと、お前なんか特にそうやけど・・・

メンバー：

はい

メンバー：

笑

北野会長：

3年たったら法人はお前の法人は潰したほうがいい、お前、結構、山を踏むタイプやから・・・結構、大山を踏むからね。殺人はするな！だましはいいけど殺人はするな・・・

メンバー：

結構、3年とかで潰すものなんですか？

北野会長：

俺は、例えば会社を持っていて、思わぬ銭をつかむことがあるやて、やっぱし。それはもうここで会社をつくるわけよ。銭を自分がつかんだから、会社をいっぱい作るの・・・こうやって下に。それでばっと経費や何だいうて流すわけよ。そんで、あやふやなんよ・・・これね・・・今言うたとおり。全部自分のトンネル会社やから・・・やっぱり調査に来られたときに困るやろ？なもんでせいぜい2年か3年で清算する清算・・・「やめました～」みたいなもんで。3年で税務署が来るいうことは絶対にないし、これでやめておけば・・・でも、倒産は絶対にせんわけや・・・わかった？知能犯やっちゃね・・・こういうことをずっと繰り返すとおかしいと・・・何かおかしいと・・・この男はね。30も会社をつくっておいてこれは何をやっておるんやと

メンバー：

笑

北野会長：

こうやってびしっと白羽の矢当たると今度、敵はケツをぶっかけてくるがやて！永遠に！もう盗聴器まで仕込んでくっからね・・・俺なんか、その目に遭っているからよくわかる

メンバー：

笑

北野会長：

結構、真面目な顔をしっとけど、まあ、痛い目に遭うとるね。でも、人間は痛い目に遭うたらまたそこから抜け出す方法を考えるものやから・・・どれがいいとか悪いとかは言えん。でも、やっぱり三畳一間で・・・脱税で三畳一間であって、ここをどうクリアをしようかなってね、考えたらホンマに・・・結構ダイエットになるよ 笑

メンバー：

笑

北野会長：

ダイエットに・・・だから、いろんな方法を考える。そうすると人間はさ、普通の人は過去を考えるやる？俺なんかバカやから未来を考えっからね・・・今度はどうしてやろうかって

真田 孔明：

創門・・・

北野会長：

もうイケイケやから、今度はどうしてクリアしたろうかなと・・・考えたのはきのうの4枚のカードで逃げると・・・友だちは携帯電話1個やと・・・孔明は電話に出るかなというぐらいで 笑
逃げの一手をかけると・・・こういうことを考えとる

メンバー：

複数、会社をお持ちになっていて、あれって全部、黒字にしているのですか？それとも赤字のところも入れたりするのですか？

北野会長：

うちはね、今の俺の基本は全部、黒字！全部・・・何せ全社、黒字にしておけと・・・なぜかという、黒字の会社をたくさん持っていると銀行は黒字の会社・・・会長のところ黒字の会社がいっぱいあると、うちは融資したいんだけど、融資したくない人ばかりが借金に来る・・・銀行は。ああ、そう、ひどいねって言うが・・・じゃあ、こっちの会社、お金いらないの。ちゃんと回るとる会社をいらないよって言う。このいらないって言葉は銀行には一番強い・・・家賃収入あるよと・・・でも、銭は回るとるからいらないよと・・・

サツチエル：

全部、会長の信用で立てているのですよね？

北野会長：

そうじゃなくて

サッチェル：

そうじゃないんですか？

北野会長：

金がいらないよって言葉に相手がどう反応するかよね・・・男が女を見てどう反応するかと同じや。じゃあ、うちのこの社長に、また貸してやってくれって俺は言うわけや

サッチェル：

株主は社長が100%株を持っている？その会社の？

北野会長：

いや、全然うちは・・・うちのファミリーで持っとるけど。俺の名前はだめ

サッチェル：

出てこないんですか？

北野会長：

俺はね、株主でもなけりゃ、役員でもない

サッチェル：

役員でもないんですか？

北野会長：

ないの・・・なぜか言うと、この二つになっていると行儀がいいもんやから、ぼっかけるわけよ、ぼっかけてくる。お前、最近なんと怖い話しやけど、お前この全社、お前が牛耳ってやっておると、だから、何とか経営者・・・

真田 孔明：

実質経営者

北野会長：

それぞれ・・・それで引っ掛けてくるわけよ。だから全部の経営者を糸引きしておると・・・こういうことで今度、脱税容疑ででかい網のほうでかけてくるわけ・・・

サッチェル：

そうすると会長が新しくつくるときは全く違う人を代表に立ててやるんですか？株式会社

メンバー：

株主も？

サッチェル：

その人が社長の100%の株になるのですか

北野会長：

その人には絶対に・・・そういうことをしたらお前、全部、人に銭をとられてしまうやろうが・・・

サッチェル：

どうしてます？

北野会長：

株券はファミリーで持つ・・・持ち株会社をつくって・・・そういう悪いことをしたくなったら先生がここにおるんやから・・・先生のところに行って・・・

真田 孔明：

持ち株会社で持っている会社に銀行って融資をするんですか？

メンバー：

株主とかそんな見ない

真田 孔明：

でも、みずほの一件以来、ある融資部門長が言っていたんですよ、前までは見なかったと

メンバー：

でもそんなにまだまだ完璧には・・・都銀クラスだったらあれかもしれないですけど・・・それはもちろん・・・まあ反社会的勢力とかは見ますけど、それ以外、普通の個人の名前が入っているのは全然

サッチェル：

海外居住者とか入っていてもいいのですか？

メンバー：

わからないですよ多分、居住者か非居住者か・・・それを調べるツールもノウハウも多分ないんじゃないですか・・・きっと

サッチェル：

会長は、持ち株会社で株を持っている

北野会長：

持ち株会社で例えば今度ここで会社をいっぱい作るだけよ。俺の計画では・・・うじゃうじゃうじゃうじゃ言うてつくるわけや。ここで何をするがや、あとは。あんたたちと一緒に、金を融資をもらっていて、何をしたらもうかるかを丹念に探すわけやねん。もし何か見つかっていてもちびちびとしか絶対にやらんが、絶対にガバツとやらんが・・・それで適当な決算書をつくってこっちの銀行にも、証券会社にも信用・・・信用が第一。だから、人間は死なないことと会社は生き残ること、これ延ばしたら延ばしたほど強くなるがやから・・・これを言っておるわけ

メンバー：

はい

北野会長：

いかに会社っていうのは利用価値があるかや・・・でも頭と知恵者と・・・一番ね、字を書く人ね・・・わかる？最後に例えばこの先生ぐらいにちゃんと自分でサインをしてくるがやね。そして、俺の責任じゃねえから。あ、このね、1行がわかったらんとあんたたち、人生、何一つ絶対に成功せんよ。失敗したら弁護士、経理士、俺は帳簿なんていうものは見たことねえんやと、先生に全部、任せとったからと・・・先生はあのばかとつき合ってもね、もうあかんだと・・・これでいいわい・・・両方がだめやって言うんやから。不当にならんわけや。俺がこう先生に寄りかかる。先生はこれを支えたと・・・

サッチェル：

支えあわないということですよ

北野会長：

お互いにお互いがあの人だめやと 笑 そう言えば向こうは、しょうもないわけよ。あれちょっと頭がおかしいんじゃない？って言った。頭、狂っていますよ。みんなが言えばさ・・・何がブラチナメンバーやて・・・あれはもうみんな最初から頭がおかしかったって・・・簡単やる？立証責任は果たすことはできる。だからあなたがやっている例えば金をつくってさ、あんたに2,000万円、回しておるのか、3,000万円？ これ配当金をうまいことトータルゲームで回しておっても返済をできるはずなんよ・・・本当はね。だからそういうことをちょっと皆さん、各自、自分のところのスタイルがあるやろ？だから今日はとりあえず自分の自宅に資産管理会社を持つと・・・こういうことを考えておけばええが

サッチェル：

自宅に資産管理会社

北野会長：

そう

メンバー：

それは海外の会社でもOKですか？

北野会長：

全然問題ない

真田 孔明：

例えば今回、Oさんが二人、雇いましたよね？今までだとこの二人に会社をつくらせてやろうとしていたんですけど、これは持ち株会社をつくったほうがいいのですかね？

メンバー：

それぞれ代表を社長を二人・・・2社つくるので代表を日本で二人、雇いました。その株主は、それぞれの株主は僕で名前を入れちゃっていいのですね？

北野会長：

あんたかもしくは奥さん。子どもは小さいと思うから・・・お父さんとかお母さんとか・・・あんたはガラが悪いからはじいておいたほうが

メンバー：

笑

真田 孔明：

親族を入れておいて・・・

北野会長：

社長に株を持たせたら印鑑を持って飛ばれたら、飛んでイスタンブールやぞ・・・そうやる？

真田 孔明：

そのときに融資の面接とかに行くときには株主っていうのは一緒に行く必要はあるのですか？

メンバー：

株主は行かないですよ、関係ない

真田 孔明：

社長でいいんです？

サッチェル：

社長で・・・

メンバー：

それは関係ないです

サッチェル：

オーナーってことでいいってことですね？

真田 孔明：

出資した人と・・・

北野会長：

だからそこだけあんたが切り込み隊長で、そのときだけ代表になっておる・・・雇われ社長の代表ないけ。銀行のクンロクをあんたがしゃべるわけよ。その融資が終わったら代表者をパッとかえてさ・・・パンと抜けないと・・・コップ抜け知らん？コップとコップちゃでかさは同じやかから普通は抜けんがちゃね？抜ける？誰か・・・抜ける人おったら1億円出すからやってみ

メンバー：

笑

北野会長：

これが俺できるわけよ・・・俺の頭の中では、パ〜ンと動いた瞬間にその下のコップのここを持ってば何か抜けたような気がせん？

メンバー：

爆笑

北野会長：

ていうのが俺のゲームやで・・・相手が向こうを見たときにおお、落ちたな、俺のコップと言えば何か落ちたような気持ちにもなるよっていうのがこのゲームのおもしろさのがやて

メンバー：

う〜ん

北野会長：

これは本当にコップ抜けをよく昔、何回も練習したんやけど・・・1回も成功せんだで 笑 本
当に。成功せんが、これね。私が言っとるのはそういう簡単なことをより簡単にわかるように
ね。だから、必死に働くとかさ、すぐに会社を動かしたいなんてね、今やっている仕事の延長
なら大丈夫なんやて・・・わかっているノウハウが。全然わかっていないところに弾を持って走
り込むと、ダイナマイトを腹に巻いたお婆さんが自殺行為やな・・・自爆テロみたいな

サッチェル：

確かに

北野会長：

そうやる？素人が商売をやってね、絶対に難しいんやから・・・今皆さんの中で商売、今の商売をやっていたらちびちびとやると・・・延長上ね・・・あとは・・・

メンバー：

管理会社はいつ作ったらいいのですか？

北野会長：

いつでも・・・今日帰ったらすぐに作っておけ・・・だから管理会社っていうのは自分のハウスにつくるんやから、ハウスの経費が全部、法人の経費になっとるが・・・

メンバー：

黒字になっているんですか、その管理会社は？

北野会長：

管理会社はずっと経費やから赤になるわけよ。だから、元の会社を持っとるわけでしょ？元の会社・・・ここから足らんだら上げりゃあいいでしょ・・・赤字っていうのはね、ここから下が赤字や・・・ここ、こんだけマイナスがやて、このビール（コップで例える）を入れても税金1円もかからないの・・・そうでしょ？赤字の埋め立てやから・・・わかった？こういう具合にだから考えてもらえない？黒字は何って言うたら、コップを置いて余計についだらあふれる・・・オーバーフロー、これが黒字なんやて・・・だから、例えばグラスを三つ持っとると、何でもできるやろ？これ。こっちの何でもできるやて

真田 孔明：

常にここら辺ぎりぎりのところにしておくという

北野会長：

だから、どんだけ言うてもわからんからね・・・あのね。たばこ・・・遠くても見える？

メンバー：

見えます

北野会長：

たばこ・・・これ縦に置くね・・・横にする・・・体積、変わった？

メンバー：

変わらないです

北野会長：

何で変わらないの？縦と横、体積はやっぱ一緒け？これ縦にしておけば、倒れる確率が多くない？

メンバー：

多いです

北野会長：

じゃあこれを横にこうやってしておいたらどう？倒れる確率は？

メンバー：

倒れないです

北野会長：

じゃあこっちのほうの方が楽に決まっているやろ？でも、どちらも底辺×高さでない？これ。じゃあ、こっちのほうの方が楽やろうが・・・絶対に倒れんがやから・・・私が毎日、あなたたちに一生懸命、言うとりんやけど、また、これをはっきり飲み込めとらんね。体積は一緒・・・そうやろ？縦ても横にしても体積は・・・ということは底辺が広くて高さが低いほうが安定しとるよね。これを言とるわけよ。底辺が長くて高さが低い・・・底辺が・・・

メンバー：

背が低いほうがいい

北野会長：

そう、なかなか大学出やの 笑 なかなかこれがわかるっちゃあたいしたもんだ

サッチェル：

売り上げてことですか？

メンバー：

売上ってことです。

北野会長：

売上も会社の利益も全ての考え方はたばこ1個を買ってきて、あんたたちは俺が言うたことを思い出せば・・・なんでこれが違うのかなっていうことをわかればわかるわけよ。たったこれだけでわかる・・・そんな難しいね。サイン、コサイン、タンジェント言う話じゃないんやから・・・たばこの底辺の話しやぞ？お前・・・

北野会長：

1箇所だけ聞きたいんですけど。例えば今の僕が持っている会社がこうだとするじゃないですか？それを今からこうやってできるのですか？

北野会長：

できる。だから、まず資産管理会社に利益を移せばいい。何なら売上も移せばいいやないかい、そんなもんAとBの売上、例えばブランド、二つやっとならさ、Aのブランドで今の会社をやっておったと、今度つくった会社にBの売上を立てておけばさ、2社が回っとうように見える・・・帳面上は。そしたらまたこっちのBの会社で先生に資産を書いてもらって融資と・・・

メンバー：

例えば今、僕が雇っている税理士が「いや、それはちょっと」とか、何とかって言い出したらチェンジしたほうがいいですかね？

北野会長：

それは決まっとる、自分の言うことを聞かん人はすぐにクビ、不要やから。でもね、私の強い人もおっからね・・・この先生は結構、頭は柔らかいよ・・・いや、わかる。昨日俺に、これはどうやって投資をしたらいいかみたいなことを言うたから、俺は「一番、利回りのいいところやる」みたいなことを言うたら、え、みたいな・・・さすが慎重派やね。結構、未練も残すタイプやぞ

メンバー：

爆笑

北野会長：

俺はそう思った話しやから・・・人間っちゃそんなものやて・・・俺から見るとやよ。

メンバー：

1社よりも2社、3社つくったほうが横になった状態になるってということですか？

北野会長：

そうそう、だから底辺は1、2、3、4、5、ここに10あると・・・高さは1。これが一番安定しとる・・・だから、僕は会社をたくさんつくって・・・

サッチェル：

1個の会社がでかくなるんじゃないくて・・・

北野会長：

1個はあかんて・・・

サッチェル：

いかんということですね、低いのを・・・ああ、そういうことね

北野会長：

これを縦に立てるいうたらかなり技がいるぞ！この不安定さ・・・だから安定が一番必要やて・・・簡単に言うとそういうことを言うているわけよ

サッチェル：

10あったらそれを3、3、3に分けるっていうことですね

北野会長：

10あったら1を10個。これ10個持ったたら潰れんぞ！こんなもん・・・倒れないやろ？

真田 孔明：

これ全社が融資を引っ張っちゃうんですね

北野会長：

俺やろ？いや俺は、だから銀行が「会長、これ隣の会社も黒字なんですけど、金いりませんかね」って言うから・・・銭、余っとるからいらんわのっていうがじゃ。この一言で銀行がキラっと・・・

メンバー：

爆笑

北野会長：

これはカモやと・・・

サッチェル：

会長、話しは会長に来るんですかね？銀行から・・・

北野会長：

各担当者に来る・・・まず

サッチェル：

社長に来るんですか？

北野会長：

各社長に来る。俺は言う・・・金、余っとる会社に銭はいらんやろ？とりあえず、さらっと・・・

サッチェル：

言っておけっていうんですか？社長に・・

北野会長：

そうそう、その流し方が大事・・

真田 孔明：

社長はなんて言うんですか？現場で・・実際は・・

北野会長：

銀行に？「今、金は余っとるし、当座にも預金あるでしょ？」みたいなことを言うとりやて

サッチェル：

会長はいつのタイミングで出て行くんですか？銀行の場合・・

北野会長：

銀行・・だから社長が今日商工中金が来るから何か会ってほしい言われておるやと・・こういう話がある。パンフレットが・・コンマ6とか・・手書きでコンマ6って書いてあるがやて・・それでパッと事務所に行って、「おう、何か話を聞いておるけど、お前のところコンマ6かい？」俺の場合は横柄な口のききかたや・・

サッチェル：

会長は横柄

北野会長：

横柄に・・「俺は金が余っとるし、ほかの会社を見たってお前のところ預金ばかりやろ？」これを言うがやて。パンパンパンと・・これがサクラ・・サクラやから・・艶やかに。艶やかにバ〜んと！ここで相手が餌を食えば「いや、会長そう言わんと、少しだけでも」「いや、お前の少しってなんぼ程や？」こう言うがやて。相手も売られた喧嘩やて買おうか？みたいなことになるから金額が本当は2,000万円ほどで来たのに・・でも5,000万円とかさ。1億円とかさ・・「会長さえよかったら1億円ぐらい・・」「支店長、お前ほら吹いてあとでチャラはだめやぞ」と・・エンコ指とるぞ俺・・これ冗談言うとりやて、「いや、やりますよ」みたいなことを言うから 笑 俺は腹では「ありがとう」って・・

メンバー：

爆笑

北野会長：

そのときばかしは足の親指に何か痒いみたいなの・・・下を見ながらああよかったなと思っとるがやて・・・で金が入ったら嫁に「楽天証券に送っておいて」これだけや・・・あとはまたそっと雲隠れと・・・金を引っぱったらすぐに逃げると・・・あとは会わないの・・・わかる？あんたたちね、例えばどこから借金しても銀行やる？会わなきゃ相手は絶対に顔さえわからんがやから、今日出張ですみたいな・・・全然問題ない。

真田 孔明：

黒字決算だけやっておけばいいんですもんね

北野会長：

黒字決算はあんたの好きなだけ先生が・・・孔明が300万円、孔明は500万円、孔明は1,000万円。償却資産から全部出すんやから・・・先生は・・・わかる？持っとる家から全部、もう借りるんやから・・・借りた家の償却資産から全部。新聞、ガソリン、たたたって。酒を飲んだのも是部経費、交際費という・・・お坊さんと飲むときは何やったっけ？あれは・・・

メンバー：

お布施

北野会長：

お布施じゃないて・・・あれは先生・・・お布施じゃなくて・・・

メンバー：

寄付？

北野会長：

あれは福利厚生費！旅行に行くのも福利厚生費、社員と行けば福利厚生費、あれは全部ね、左勘定やから一緒なんやて・・・交際費に入ろうと福利厚生費に入ろうと同じ。だから昨日も言ったよ、金を使うことが利益をとることなの。ものすごい難しい単語やから、あんたたちの今の頭の中では恐らく理解はできん、金を使えば使うほどうかるっていうシステムやてね、これっていうのはものすごい難しい・・・でも、どこか今こうやって歩いていくと、あ、どうして俺はこんなに簡単なことがわからなかったのかなと自分に気づくがやて・・・本当に。こんなに簡単なことやけど絶対に今言うた中でまた手を挙げてわかっている人はいないやろ？金を使うほど、使うほど余計に儲かる

メンバー：

使うと利益なんですか？

北野会長：

使うとそれを利益にかえるように誘導するが

メンバー：

管理会社でも？

北野会長：

管理会社でも普通の会社でもみんな一緒・・金を使わん会社は絶対に儲かるわけがねえやから・・死んでいる会社のことや

メンバー：

それは例えば仕入れをしないとかそういうことですか？

北野会長：

だから経費を使うということは必ず新しい情報なり、新しい人間と酒を飲んだり飛行機に乗ったりするわけでしょうがね？人間が生きとるっていうのはそういうことやないかい・・ご飯を食べてさ

メンバー：

金は天下の回り物みたいな感じで

北野会長：

そう、だからこれ、刺身を食べようと肉を食べようとこれは全部経費やと・・だから、食べた人が一生懸命に稼がにゃああかんよいうことを言うとりわけ。これがもしわかったら、この真意がわかれば商売っていうのはうまくいくよっちゅう話し

メンバー：

う～ん

北野会長：

毎日そう思って、きょうも会社に迷惑をかけとるなと・・でもね、そんな3年や5年赤字でもね、借金さえ返済しておけば誰も文句を言うてこんが。返していけば・・だから、そのときに思うわけよ。どこかで1発、当てんといかんとかさ・・ヒットを打たんとあかんとかさ・・

サッチェル：

まずゆっくりやればいっていうことですか

北野会長：

そう、ゆっくりやれ

サッチェル：

ゆっくりやればいい、存続し続けるのが大事だと・・潰れないで

北野会長：

また、やんちゃいくのはだめやよ、孔明さんの話を聞いてでかいことお前は、はっきり言えんが。とりあえずわかったとかさ、そういうところが大事

真田 孔明：

でもね、目覚めましたね

北野会長：

孔明！

真田 孔明：

はい

北野会長：

酒がねえやん

真田 孔明：

済みません

北野会長：

お前、何で俺の酒まで全部、飲んでやぞ、アニハンセヨ。俺は本当は金、貸せよ言うたいんだけど・・・アニハンセヨ、金貸せよ。同じ、これをアニハンセヨ、金、貸せよ、●●させよ、と一緒にやて、これを軽いタッチで言えるか言えんかが人間の甲斐性やから・・・わかる？人間の甲斐性はこうよ。アニハンセヨ、金、貸せよ、●●させよって・・・このワン、ツー、スリー。これをアニハンセヨ、金、貸せよ、●●させよ。この三角形にするこの力。これがパワーや。パワーはそれは簡単や・・・早くさせてくださいよっていうよりもさーっとアニハンセヨ、金、貸せよ、●●させよって言うたら何かシャープや・・・

メンバー：

確かに

北野会長：

そうやる？人間はだから正直になれば前は見えるわけよ。金を借りても返せば料金は減っていくが！簡単やる？金を返せばお前、持っとる銭は減るがやて。金を返さなければ・・・金を返さなければ元本は減らんが・・・わかった？

サッチェル：

わかりました

北野会長：

こんな簡単なゲーム言うとりんやけど、きのうも誰も反応しれくれんがもんで俺も弱ったなと・・・と思うとるだけなの。飲んだものはビールの・・・きのうもたくさん飲んだけど・・・またここに来て焼酎を20杯ぐらい飲んで・・・俺、本当にそんなにいっぱい飲んだか、自分もわからんが・・・だから、彼は酒を飲まんやろ？

真田 孔明：

一切、お茶、大丈夫ですか？そういえば

メンバー：

大丈夫です

北野会長：

悪魔みたいなタイプやから・・・だからこれは悪やよ。あんたたちのメンバーでは全然違う、腹の中は違うんや。悪の象徴みたいなもんや、デビルマンみたいなもんや

真田 孔明：

すごいお墨つきの言葉だらけですよ

北野会長：

そういうところある。こうやって見たら彼も実態はわからんけどベルギーで遊んでおるわけやろ？遊んでおる・・・遊んで飯が食えるということはそんだけ利回りがあから遊んで食えるわけよ

真田 孔明：

何もしていないの仕事・・・

北野会長：

彼の場合は利回りもあるし、女もだませるようなタイプやから、うそつき、キツツキみたいなタイプやから

メンバー：

笑

北野会長：

そういうところが見えるやん。こんだけジェントルマンやからもうパッと会った瞬間にしゃらっとしとるから、彼は。しゃらっとしとるがやて、クールファイブみたいなタイプやから、結構、人もだましてる。部屋も自分で借りとらんじゃないよ、きっと女の部屋に転がっておる・・・もう家賃も払っとらんいうタイプや！あとはアイラブユーだけで生活は成り立っておる、そうや

る？俺は真実しか言わん。それぐらいはへっちゃままでできるタイプ。だから、よく似たようなにおいがする

真田 孔明：

2番目

北野会長：

においが・・・でも、そうやる？さらっとさ。自分がお前、何やっとながや言うたら「いや、仕事はしていないんです」お前、仕事をしとらんで毎日、飯を食って生活できるわけがねえやん、いくら投資家といえども普通はお前の若さやったら労働や。労働がいけない。普通は人間、お前。お前みたいな会った瞬間に自分はばろばろみたいな言う男ってあまりおらん。働く意思がねえから。ということはぼったくりや・・・ぼったくりなんやて、これもすごいなと・・・俺が感じたことはね。この男も、この男も悪やけど。悪人は伸びるがや、善人は伸びんが！孔明さん、いつも書いておるがや。いい中学校を出て、いい高校を出て、いい大学を出て会社員になる。それでソニーやらシャープへ入って、僕は東大から入ったんや、みんな間に合わんからみんな首切りや

メンバー：

あ～

北野会長：

みんな、その中に入るわけよ。人間ちゃあ、みんなそんなもんよ。本当に。でもその人たちは何も起業も何もできんが・・・なんでかっていうと、野生感がねえから・・・野生感がない。野生感が全くねえから。野生感が全くないということはパツと事故に遭うたときに右に飛べばいいか左に飛べばいいかわからんが・・・ほとんど即死や・・・だから、勘のないやつはあかん言うことよ。あんたたちみたいに。俺はきのうも言うた。あんたたちみたい半端者は生きる力があるがやから。自力で生きとるわけや・・・自力で生きとるわけや。だから、いい考え方、いい出会いがあれば新しい考え方があれば・・・俺は善じゃねえから、善じゃねえ。でも本当は悪とは言いたくないけど・・・ここが難しい。善と悪の融合みたいなもんやから・・・きょうは融合を急ぐんと話が難しくなってくる

真田 孔明：

日本では納税していれば正義ですね

北野会長：

聞いておいて！1%で国金でもどこでもいい。銀行から金を引っ張る、証券会社へ送金する、我々は簡単や。利回り1%を引き算すりゃいい。20%で回れば19%の利益。3%で回っても3引く1やからプラス2やる？絶対に我々のゲームでは損するゲームはないわけや・・・これが情報や・・・これが情報やて。50引く1とかさ、そういうことを考えると・・・そんなばかなことあるわけないわけよ。

メンバー：

はい

北野会長：

日掛け、月掛け、心がけ。まめによいしょにプレゼント・・・そんなことないわけや。だから、上がれば下がる。だから、上がったときには物売る・・・物売る！今日朝から晩まで言うておる！物売るいうところがまだわからんがやて・・・ぼかしがかかっている人は、え、売るっ
ちゃあ、どういう単語って思うとるやて・・・もはやわからんが・・・俺がここに座ったときから
売るいうことを一生懸命言うのとるけどこの時間に売るいうても、あ、はっきりわからんがね？
皆さんは・・・。仕入れは売りにつながるとるんやから。A、B、Cはイコールやて・・・AもBもC
もイコールにつながるとるが・・・わしらジェントルマンやから・・・わかる？A、B、Cはイコー
ルでも銭は抜かにゃああかん

メンバー：

笑

北野会長：

わかる？銭はとらにゃああかん。これがだからジェントルマンの法則なんや。A、B、Cはイコー
ルでも間には利益をとってかんのがジェントルマンの法則。ここら辺は恐らく3学期になっても。
はっきり分かん思うけれども

メンバー：

3学期！

北野会長：

難しいやて・・・自分が習ってきた世界と逆の話をしとるわけやから・・・動くな、働かないうタ
イプと、働けば死ぬいうこの法則と皆さんが習った教育は全く・・・だから、きのうもお前の手
を表、裏か、表、裏か？誰も何か。俺はこっちやとか、俺はこっちやみたいなことを言うがや
て・・・本当は言いたかったことはどっちなのか？今の法則を知ってほしいがためにきのう「お
手てテンプラつないで～」みたいなことを言うたが・・・

メンバー：

笑

北野会長：

何か全員が無視やから・・・全員が無視。これひどいよ？この寂しさ。わからんもん一生懸命
説得はまたひどいものやて・・・せいぜい小学校1年生ぐらい卒業してさ。3回目やから。小学校
2年生か3年生も終わりでくりゃいいんでないかなと思っとるがやて・・・俺は思っとるがやて。
でも、何かきのう、アハハ言うて笑うて。俺・・・何かアハハの男なのかと・・・俺は必死にみ

んなに言うるとる・・・必死に言うるとるが！金を返したら財布から銭が出ていくんやから貧乏になる言うて必死に言うるとるんやけど「金を返さんでもいいがですか？」みたく・・・

メンバー：

う～ん

北野会長：

金は信用創造すればいい。金は借りとり人がジェントルマン・・・利息だけ払っていく人が一番ジェントルマンや・・・ええんや！国家報酬！お前、投資信託でわしら利益があったら、20%は国がピンハネ興業や！あれこそまさしく僕が好きなNPK・・・先生も知っとる。先生、去年かおととしまで10%やった。そうやる？10%と20%・・・知らんもんは頭ばかやから思うとるわけ。10%が20%だから10の違い・・・でも、納税しとる人は倍になったが・・・キャッシュを払わない人はわからんが・・・

メンバー：

あ～そうですね・・・

北野会長：

俺の場合は痛みを感じておる。でも、その分日本の国に貢献しとる。でも、俺は1%の利息と20%の税金を払とるんやから、国家に対して奉仕しとる。これが俺のポリシー。だから、納税はいいが、あるいは納税せんでも日本ピンハネ興業が全部とって行くが・・・先生に聞いてみれ。絶対にとっていくやから！あんなもん絶対、ごまかしは絶対にできんが・・・投資信託ほどくるやる？頭から20%、パンと引いて自分の口座にしか入らんが・・・人の銭で国家は銭をもうけておるんやから。マネーは本当は俺のものやど？もうかった銭の20%はピンハネ興業や・・・だから日本ピンハネ興業や言うとる。こういうことをいつも言っとるがやて・・・

サッチェル：

そこは、はい、もう・・・

北野会長：

お前ら、聞いとってもまだ実行できとらんが！俺はだから最近はどこかで来月は上海で再来月は地中海クルージングに行くから恐らく来月・・・これだけ一生懸命、言うてもみんなわからんが！わからんが！本当に・・・メンバーのママも昨日も今日も聞いてもはっきりわからんやる？

メンバー：

今日わかりました。この2日間で・・・

北野会長：

結構わかったというもののあやふやなもんやて。だから実行できるかいうたらまた自分の資産管理会社もはっきりわからん。「霧に～」みたいなことでぼやっとしとる・・・ぼやっとしとる。それでいいんやけど・・・ぼやっとしたところでできれば・・・つくればいいんやて、また。ほとんどの人は内気、内向的やからつくらんが、ここで。どうしたらいいかわからん。先生にも相談できん。そんなのは普通の人間。先生も誤解しとる・・・普通の人は全部、頭センジンピンや。先生のところまではわかる・・・先生もだから数字は得意。経済学は得意でねえ、本当に・・・俺みたいなジェントルマンじゃねえから。俺みたい金を返さないいう法則なんてわからんが。先生に・・・わかる？この先生にしたら返すのが当たり前。元本プラス利息、これが先生の頭の中に方程式がある・・・学校でもずっと習っとる。「借りた金は返せ」孔明が好きな言葉やから。すごいジェントルマン、僕の法律は貸して貰う・・・聞いた？貸して貰った・・・貸しても貰ったものを何で俺、返さんならんが？貸してもろうたって言うたのに・・・銀行に、返せなんて・・・それは失礼やろと。支店長、俺、返せんから。お前、好きなようにすれって言うと、「社長、足を抱いておるんですか？」みたいなことを言うから。お前、俺に貸してくれたんやろ？と、「そうです。貸しました」と・・・貸してくれたんやろ？って・・・くれた錢には利息はつけるけど元本まで返せいうても俺、人生短いからさ、元本まで返しとったら月に40万円ずつ払えるのか？

メンバー：

う～ん

北野会長：

そんだったら、逆に「払えん」っていうた早いやん

真田 孔明：

最初ね

サッチェル：

最初は特に・・・

北野会長：

それを言える勇気があるがかい？勇気、実行、行動力。これも、もう10回ぐらい言うのとるやけどまだわかつたらん

真田 孔明：

言うのはタダだから

北野会長：

孔明の場合は4年しゃべってもきのう何かひらめいたいう・・・このほとんど無視やからね！ほとんど無視！この無視されるこの立場！孔明の場合は必死に言うてもワイン3本で俺をごまかすから。ちゃんとワインを持ってくるが・・・焼肉屋で・・・俺はワイン飲み飲み、孔明、やっぱりいいやつやなと・・・本当はあの日よ、文句を全部言っただろうかなと思うたんやけど、何かワインを持ってくるもんでこんなグラスで飲どるわけよ・・・ワインを・・・これでワインを飲むがやから。俺の場合は、どんどん入っていくがや

メンバー：

笑

北野会長：

俺、ほんま、内気、内向的やから・・・人間、正直なんやて、だから、孔明も悪気はなくていい男やなと・・・ワイン1本・・・心、人間の心・・・心が大事や、形も大事。でも人間の心が一番大事・・・心があれば全てOK。金なんて貸してもらった・・・利息がほしかったら、俺の場合はよ、利息が高かったら返せんいうタイプやから

メンバー：

う～ん

北野会長：

これをね、やんちゃで言う・・・「支店長ね、お前、利息が高かったら俺返せんやろ」と・・・だから、1.2のところをコンマ6にしてくれと・・・利息は払いやすいやろ？と・・・「利息は永遠やから。お互いの人間関係で今日の飲み代もかかるとるんやから・・・」これだけでコンマ6になるがやから

メンバー：

あ～

真田 孔明：

ここにかかる飲み代ってそんなたいした高くないよね、多分ね

サツ切尔：

高くない、高くない

真田 孔明：

40万円が20万円になれば・・・

サツ切尔：

なればね・・・

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

延命時間が延びるね

北野会長：

違うやて、延命時間を永遠に延ばすが！

サッチェル：

永遠ですよ

北野会長：

新幹線走っとるんやから。孔明は1両目、切ったら脱線するが・・・永遠に新幹線は走るような車両は一緒なの、15両目も一緒。あとはマトリックスやから。1両目が返済しても15の後ろに16両目を作れば、長さは一緒やて。永遠に！だから、返せ言うたらハワイでそうやって言うたやる？こうやって電車が走っとりました。ここを返しました。電車つなぎました。簡単やる？

真田 孔明：

本当、これようやくわかったんですよ。この意味が 笑

北野会長：

あしたからムチでも持ってきて教育してあげて！本当にね

真田 孔明：

これね・・・もうね

メンバー：

わかる、わかる、どんどんどんどん車両が長くなっていく・・・

北野会長：

だから、金は今、200億の原子爆弾を落としたら金は出てくる

真田 孔明：

200兆ですか？

北野会長：

200兆、たった200兆やから・・・この前、創造したのは80兆ほどや

真田 孔明：

年間80兆ですよ？

北野会長：

80兆・・・株が8,000やから2万円ほどになるがやから・・・。でも、誰が儲かったか・・・よく聞いてくれ・・・一番もうかったのは日銀

サッチェル：

日銀ですよ

真田 孔明：

2カ月で17兆、勝ちましたからね

北野会長：

いやいや、この間、俺が暮れに聞いたら、含み資産で23兆以上は儲かっとなる。「え？23兆」って・・・

真田 孔明：

それはブラックのおじさんに聞いたんですか？

北野会長：

それは先生のところに行って聞いたが・・・含み資産で23兆は・・・23兆儲かっとなるがやと・・・困っているんだよ。俺はジェントルマンやから、一応、何でもものを言うタイプやから・・・相手は軽いんやから、軽いが・・・エンジンは軽いんやから。本当エンジンは軽いよ。もう、ラスベガスのおじさん、千何百兆、日銀のブラックさん、全然違う・・・320兆や30兆持っとなるんやから・・・とても戦争にならんが！あのおじさんたちと戦争にならんがやから・・・世界がどんだけね、儲かっていてもだめ！あのおじさん、原子力爆弾と一緒にやから・・・どんだけ大きい投資ファンド、大きくても50兆ほどや・・・

(電話かかってくる)

この「はい」と「です」が人生を決める。「はい」以上は余り言わんことにしとる。俺にしたら女神みたいな女やったと・・・朝起きたら・・・

サッチェル：

かわいいですね、きれいですね、愛しているよ

北野会長：

あと目が覚めたら、あとは「はい」と「です」以外は言わんが・・・だから家庭平和でないと銭はたまらんが！これはぱらぱらばかりやっとってもだめやろ？ぱらぱらばかりやっとってもね、うまくいかんがや

メンバー：

笑

北野会長：

これだけ孔明にしゃべってお前ら、みんな字は読んだ、言葉は聞いた言うて・・・全然わかっとらんが！俺はきのうも。きのう特にそう思った、痛感した・・・本当にみんな、頭、悪い・・・頭センチピンやなと・・・という気がしたが！ほんまにね簡単なことを全然・・・書いたのに孔明、書いてあるのに誰もわかっとらんがね？きのうしゃべればしゃべるほど・・・

真田 孔明：

会長。書いた本人もわかっていないので・・・

北野会長：

本人がわかっとらんから。さっき外で言ったような話しさ・・・ジェントルマンになるのか、銭とらるマンになるのか？人生は2つに1つ。「しあわせ」4文字や、幸せ・・・不幸・・・3文字や。3と4でもこれぐらい違う。どっちを選ぶか、自分が選ぶ・・・自分が選ぶ！自分が選ぶんは3と4や、5と6も一緒！5階にするか6階にいくか・・・6階から1階下がれば誤解は解けるの。そういう具合に覚えておいて・・・

メンバー：

はい

北野会長：

これはね、きょうの一番難しい問題やから。あんたたちはほとんど今、言うても絶対にわからんがやから・・・幸せの4文字を選ぶのか？不幸の3文字を選ぶのか？6階におるか、1階下がって誤解（5階）しとるのか？たった1の差！決算書は5から4を引けばプラス1・・・あとは先生に頼む・・・先生は作文は上手やから

真田 孔明：

本当に先生に頼まないとだめなんですよ。だめですよ・・・最初に先生ですよ

北野会長：

先生も、あんたらみたいなバカな会員がたくさんふえれば先生も商売繁盛になる

メンバー：

笑

北野会長：

そうやる？だから俺が言うたのは、みんなが融合すれば大きな力が出る・・・みんながバラバラ
やったら

サッチェル：

時間がかかりますよね？

北野会長：

時間じゃなくて、まとまん！だから企業努力をすれば円をまとめれば、結構いいパワーになるわけや、だから昨日も言った・・・一人10億ほど・・・一人100億とは言わん。一人10億ほど弾をつかんでくれればいい案件は僕は探すから・・・そのときに弾けたらゼロやぞ！笑 弾けたらゼロやから！いやいや、そうやって言えばみんな慎重になるやろ？だから、その人間の危機感！だから仕入れたものを売る。売る練習をとりあえずして、売る練習！男を売ったらあかんよ！先生！

メンバー：

笑 わかりました

北野会長：

女に男を売っとってもあかんよ！でもね・・・これ酒ある？まだ？

真田 孔明：

あります

サッチェル：

あります、ここに入っていますよ

メンバー：

これは空です

真田 孔明：

結構、飲んじやった

メンバー：

もう1升いきます？

北野会長：

俺の場合はちびちびやけど・・・

真田 孔明：

これは空ですか？完全に？

北野会長：

もうないの・・・ここに残ったのは全部、飲んだが・・・俺は毎日だから酒を飲んどる。朝、起きたら全部、全て忘れておる。「忘れてしまいたいことや～」みたいなもんで全部、忘れる。朝はiPadに向かってきょうは何が上がるかとか下がる・・・それしか考えない、全然ないが・・・あとは何もねえ。心は真っ白やから・・・白いキャンパスやから・・・わかるやろ？白いキャンパス、真っ白や・・・何でも絵をかける。山の絵も海の絵も何でも・・・自分の心描くのは簡単・・・自分の心が描くやから・・・筆はいらんがや・・・キャンパスに自分の心を出す。本当はどんな過去があるかなと思っとるんやけど。だからやっぱりそこに夢がないとさ・・・夢っちゃあ大事なもんや。でも、お前ら男は最低、わがの嫁はんぐらいは幸せにする、最低、最低・・・わがの嫁はん！力が余ったら2人目の女を幸せ・・・

メンバー：

笑

北野会長：

もっと力があったら3人目の女も大丈夫。それは俺はイッツアOK！お前ね、50人ぐらい持つとるやろ？

メンバー：

いえいえ

真田 孔明：

幸せにさせてもらっているんじゃないの？

メンバー：

笑

メンバー：

していただいている

北野会長：

結構クールファイブやから危険や・・・考えとることがあやふややから、これは悪やけど、あれはあやふやや・・・

メンバー：

はい、そのとおりです

北野会長：

ベルギーで遊んで生活できるパワーがある・・・パワーアップや。そこはだからすごいところや。弾持っとるから、こういうばかなことを言うけど。ベルギーにおってもお前のサイトで来て、こんなバカな世界ちゃあある・・・クールや。絶対に溺れんよ・・・彼は絶対に溺れん。女に溺れんけど、溺れるということは数が多いことは溺れん。1人の女だけやったら溺れるの。3人以上つくったら女には絶対、溺れんが！

メンバー：

3人以上作っとかなきゃ

北野会長：

3人のうち1人は男は選ぶがや。4人から5人になったらもう選ぶことはできんが！あやふややから。あやふやは、また難しいこと・・・そうやろ？女でも30過ぎてみれ・・・お前。もう日替わり定食みたいな・・・いやいや男っちゃあそうなるがやて・・・日替わり定食。俺は原理原則は知っておる・・・教育者やから

サッチェル：

笑 確かに

北野会長：

ほんまは知っとるんやよ・・・お前のやっとること大体わかるの・・・大体。見たことはねえよ！見たことはないけど彼の生活も見たことないけど、彼は悪。デビルタイプ。顔を見てみれ。かわいらしい顔をして・・・目ぱちぱちやから・・・金魚みたいな目をしとるけど、これ最悪の悪や。悪人やて、結構ね、先生ね、悪やけど知恵が回っとるから・・・知恵が回っとる。本当に知恵が回っとる。俺はだからいつも言っとるのは彼に刑務所に入らん程度でぎりぎり走ったらと。こっちは落ちたら刑務所に入らんといけん

メンバー：

笑

北野会長：

ということと言っとるだけや。銭なんていうのは考え方、一つでなんぼでもつかめる、なんぼでもとれるつかめる、何でもできる。本当ベルギーにおっても日本に会社をつくればお前の会社いっぱいなんやから、お前のために。会社つくったからお願いしますと・・・株主はお前の親、代表者は彼女。あとは銀行周りして弾を引っ張ってくるだけや。

メンバー：

はい

北野会長：

女の尻を追っかければ男は金持ちさ・・・そうやる？簡単や、簡単なゲーム。融資の銀行は全部、男やから・・・女に弱いわけさ

メンバー：

あ～

北野会長：

お前ら、女はくどくと人間は「のりやすく」なるわけよ。簡単やる？ゲームは。だからゲームをつくっていきさ、簡単なわけよ。だから最近ね、つくった会社の社長を女にしとる。支店長に酔っ払いながら支店長、「いいやん、いいやん」みたいなことを言えば

メンバー：

爆笑

北野会長：

支店長もこころ良くなって3,000万円、5,000万円ぐらい出しますよって言うがやて！この「いいやん」が！いいやん、いいやんが効くやがじゃ。俺、だから女のうちの社長にも・・・支店長の横にいったらとりあえず「いいやん、いいやん」うん言わんな。もっとしつこく「いいやん、いいやん」みたいなことを言えば融資はしやすくなる

真田 孔明：

女性の人は何歳ぐらいなんですか？

北野会長：

あれは40みんな、過ぎてきとるんでないかな？40過ぎると自分と子どもおったりさ・・・いろいろ問題あるわけよ。でもうちの社長やから、俺だから「お前は仕事は支店長をだますこともお前、仕事なんやと・・・」そう言うとも最初は反発するがやて、できなきゃだめだよと。でもね、女っちゃね、もっと従順やから・・・すぐ実行！勇気、実行、行動力や

真田 孔明：

確かにいざとなったら女性のほうがパンとやりますよね？

北野会長：

それは当たり前やて

メンバー：

う～ん

北野会長：

女性はお前、子どもを生んどるんやから。きつついのやて・・・わしら血を流したことねえから・・・そうやる？根性・・・皆さんもそういう具合に考えておいてよ。俺も白雪姫やから帰っていく時間が刻々と迫るとるが・・・これまた遅くなるとまたきのうみたいに、あんた、えんこ指でも詰めれとかさ・・・怖いこと言うんやから。俺の場合はまじめやから指でも何でも詰めてください・・・神様です。そう言うとも相手もゆるすよ。人間っちゃ、強い人間はおらんがよ。会社も堅く考える必要はない、軽く（パンと手を叩く）こんな感じで会社をつくる